

【オリコンサルと伊那市ら実証実験 AI乗合タクシーで配車サービス効率化】

AI乗合タクシーで 配車サービス効率化

オリコンサルと

伊那市ら実証実験

オリエンタルコンサルタンツは、長野県伊那市、ベンチャー企業の未来シェア（本社・北海道函館市、松館渉社長）と3者共同で、「AI（人工知能）による乗合タクシー自動配車システム」の導入推進に向けた実証実験を行う。

地方では高齢化に伴う生活のための交通手段の確保が求められる一方、路線バス利用者が減少するなど地域公共交通の維持が課題となっている。

伊那市では、こうした課題解決に向けて、未来シェアが提供する、AIによってオンデマンドで乗合タクシーを配車するサービス「SAVS（サブス）」を導入し、高齢者らの移動支援を行う中山間地域における新しい3次交通の構築を目指している。

オリエンタルコンサルタンツは、実証実験の運営管理を

担うとともに、利用者や事業者に対するアンケート、ヒアリングを実施。システムの有効性や社会受容性の分析・把握などを行う。

システムが実用化されれば、交通空白地域の減少やドア・ツー・ドアの移動に対する利便性の向上、車両の配車効率化による経営の効率化などの効果が期待されている。